

取扱いの趣旨

「脱離」の病名のみでは、疾患の原因や状態が明らかでないことから、う蝕処置又は歯髄保護処置の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《令和3年2月22日》

85 う蝕処置及び歯髄保護処置

○ 取扱い

原則として、「脱離」の病名のみで、う蝕処置又は歯髄保護処置の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

脱離のみでは、その原因や状態が明らかでないため、算定にあたっては、う蝕処置又は歯髄保護処置が必要とされる傷病名の記載が適切である。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

蝕処置及び歯髄保護処置を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（脱離に対してう蝕処置又は歯髄保護処置を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、う蝕処置又は歯髄保護処置が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

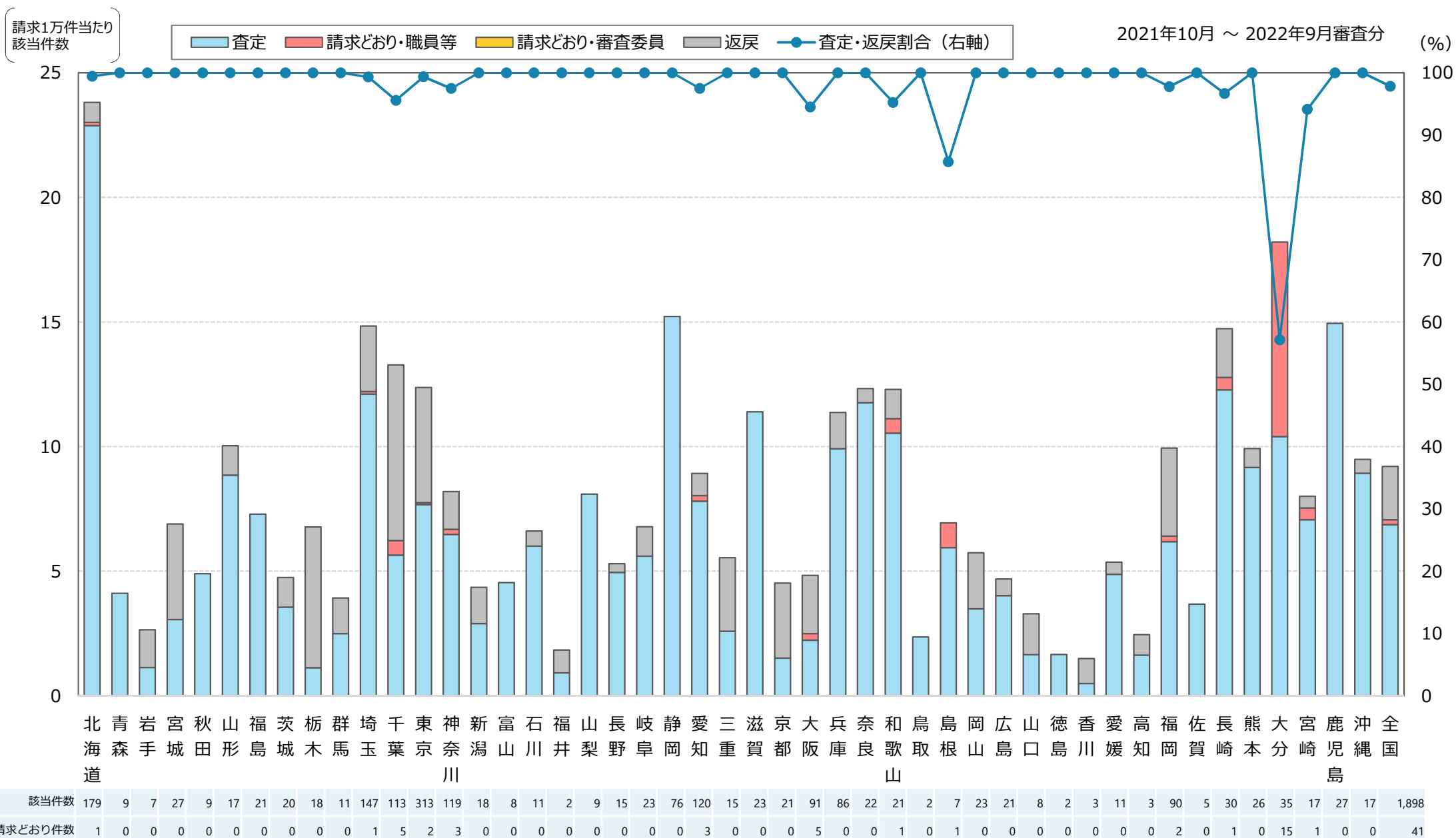
- 全国の査定・返戻割合 97.84%
- 検証を必要とする都道府県 1

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県	大分	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等	大分	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//

該当件数（全国）	脱離に対してう蝕処置又は歯髄保護処置を算定	1,898件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,857件
検証を必要とする審査	請求どおり	41件

事例85 「脱離」の病名に対するう蝕処置及び歯髄保護処置の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】脱離に対してう蝕処置又は歯髄保護処置を算定を算定しているレセプト件数